

日刊建設工業新聞（2016年11月15日付6面掲載）

【オリコンサルグローバル フィリピンでバス電動化可能性調査】

フィリピンでバス  
電動化可能性調査

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタ  
ンツグローバル（東京都新  
宿区、米澤栄二社長）は、  
電気自動車の部品製作を手  
掛けるピユーズ（東京都千  
代田区、大沼伸人社長）、  
フィリピン電気自動車協会  
と共同で、フィリピン・マ  
ニラ首都圏で「電動ジープ  
ニー導入を通じた低炭素都  
市推進にかかわる実現可能



ドゥテルテ大統領（中央）  
を囲む米澤オリエンタルコ  
ンサルツグローバル社  
長（右から2番目）ら

性調査」を実施する。10月  
26日に東京都港区のザ・プ  
リンスタワー東京で訪日中  
のフィリピンのドゥテルテ  
大統領が立ち会い、3者の  
代表が覚書を交わした。

ジープニーは、フィリピ  
ンの市民生活を支える乗合  
バス。その多くが老朽化し  
たディーゼル車で、老朽化  
による修理・維持費の財政  
負担の増加と、排ガスによ  
る都市部の大気汚染の原因  
となっている。

今回の調査では、ディー  
ゼルエンジンのジープニー  
を低炭素でクリーンな電動  
ジープニーに更新し、フィ  
リピンへの電気自動車技術  
の導入と事業化に向けた可  
能性を調査する。